(別添様式2)

平成 25 年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
生駒市	生駒市立生駒南第二小学校

1 放課後学びタイムの取組

本校では、児童の学力向上のため放課後学びタイムの取組を進めている。2年生以上 の希望する児童を対象に、算数科のプリント学習を地域の学習ボランティアと協力しな がら進めている。

2 取組の概要

1) 指導する教員及びボランティアの体制

教員及びボランティアの構成	指導内容
人権教育推進教員	中心となって児童の募集、日程などの全体計画を行う。
入惟叙月怔進叙貝	プリント準備、成績の管理・分析及び、学習指導を行う。
少人数指導の教員	人推教員の補助及び個別指導。
学年の担任、特別支援担任	自分の学年の時間に担当、個別指導を行う。
地域ボランティア、学びのサポーター	個別指導及び丸つけを行う。

2)参加人数と実施回数について

学年	参加人数	参加率	実施時間帯	実施回数(年間予定)	下校
2年	28人/33人	85%	金 14:45~15:30	11回 (2グループを隔週で)	15:30
3年	30人/43人	70%	木 14:45~15:30	11回 (2グループを隔週で)	15:30
4年	21人/47人	45%	火 15:30~16:00	22回	16:00
5年	19人/31人	61%	木 15:30~16:00	22回	16:00
6年	8人/50人	16%	金 15:30~16:00	22回	16:00

3) 保護者へのお知らせ(案内)と児童の参加率

木々にに	が青	が始まり1ヶ	月が過ぎま								
木々にに	が青								生駒]南第二小学	校
木々にに	が青				1. Control						- dead date
121	t元気	々と子仪を									
		2-4-19-2			した。	十ともにら	も保々に子	仪生.	HI.C.	質れてさた。	つじ、初
G			ぎましていま		c#na	n 40-4884	41 ++ A	er: ata	a mr:	粉の甘が谷	+~==
										数の基礎学	
めさ	したこ	プリント学習	冒を進めます	°. 2•:	3年生	こは、クラスこ	ごと分け、隔	週で	6校時	持の時間帯($14:45 \sim$
15:3	30)に	学習し。高	学年と共に	下校1	ます	- 4.5.6年	生は. 放課	後(19	5:30~	~16:00) 学習	11.下校
		1 0 0 (10)	, , , , , ,	1 1/2	- 0.			(2)		10.00) 1 E	1011
ます											
放	課後	のわずかな	:時間の学習	星です	が、	少しでも一丿	しひとりの子	どもた	こちカ	『成果を感じ	られるよ
指導	単して	いきたいと	思います。								
XX.	5±55/5										
	11X1 J	事等の都	合で、予定	が変す	こにな	ることもあり	ます。そのな	易合!	は、学	:級担任から	別途お
			合で、予定	が変す	ぎにな	ることもあり	ます。その特	易合に	は、学	級担任から	別途お
		事等の都	合で、予定	が変す	きにな	ることもあり	ます。そのな	易合心	ま、学	:級担任から	別途お
			合で、予定	が変す	ぎにな	ることもあり 6月	ます。そのな	易合い	ま、学	級担任から 7月	別途お
		します	合で、予定 高学年	が変更	にな		ます。そのな	易合门	は、学曜		別途お
らせ	いた	します 5月				6月				7月	
らせ 日	曜水	します 5月			曜土	6月			曜	7月	
らせ 日 1	曜水木	します 5月		日 1	曜土日	6月		日 1	曜月火	7月	高学
らせ 日 1 2	曜水木金	します 5月		日 1 2	曜土日月	6月		日 1 2	曜月火水	7月	高学
日 1 2 3	曜水木金	します 5月		日 1 2 3	曜土日月火	6月	高学年	日 1 2 3	曜月火水	7月 低学年	高学4

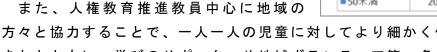


4)活動の様子



5) 成果として

放課後学びタイムに参加する児童は、意 欲的に学習に取り組んでいる。4年間の県 算数テストの2年生から6年生の得点の分 布の変移を棒グラフに表すと低学力傾向の 児童の割合が徐々に減少し、高い得点を取 る児童の割合が増えてきているように思わ れる。放課後学びタイムに取組んできたこ とにより、基礎基本を定着させることがで きたと考える。



方々と協力することで、一人一人の児童に対してより細かく個別指導を進めることがで きたとともに、学びのサポーターや地域ボランティア等、多くの人に声をかけてもらう ことで児童の意欲が向上し、良い効果をもたらすことができたと考える。

県算数テストにおける得点分布の推移(2~6年)

2011

54%

26%

19%

2012

57%

25%

2013

71%

19%

100%

90% 80%

70%

60% 50%

40% 30%

20% 10%

■80以上

■50未満

■50以上80未満

2010

59%

20%

20%